



14 あくら周辺

伝統建築の趣を生かしたにぎわい空間。横町通りから移築・再現した旧大島商会店舗が令和3年（2021年）4月、まちなか観光案内所として仲間入りした。



17 有楽町周辺

煉瓦造りの建物、町屋風の店舗、保存樹、公園など様々な要素が楽しめる。古いビルをリノベーションして新たに生まれ変わらせる取り組みが目立つ。昭和感が漂う建物や店舗があり、懐かしい雰囲気をつくりだす若者に人気のエリア。



21 寺町

寺院が建ち並び、緑に囲まれたやすらぎのある通りをつくりだしている。威光を放つ大きな門、樹齢を重ねた松やイチョウなどの巨木、静かに流れる空気。寺町通りは昭和58年（1983年）、「市民が選ぶ都市景観賞」を受賞している。



25 赤れんが館(旧秋田銀行本店本館)

明治後期の煉瓦造りの洋風建築で、堂々たる雰囲気からランドマークとなっている。赤れんが館は、旧秋田銀行本店本館として明治42年（1909年）に着工、同45年に完成した建物で、昭和56年（1981年）に秋田市に寄贈された。昭和60年に秋田市立赤れんが郷土館として開館した。国の重要文化財に指定されている。



29 にぎわい交流館 県立美術館

にぎわい交流館は、芸術と文化交流の場として、幅広い市民や観光客が集い、まちのにぎわいをもたらしている。秋田県立美術館は、芸術文化活動の発表の場、そして新しい街の文化のシンボルとして市民に根付いている。



31 市立体育館

縄文首都のオリンピック神話をモチーフにした特徴的なデザインが目目を引く。RCと金属瓦を使った曲線屋根が独特の雰囲気を作っている。秋田県のプロバスケットボールチームである秋田ノーザンハピネッツのホームアリーナでもある。



15 山王・竿燈大通り

整然としたビル景観がオフィス街らしい雰囲気をつくりだしている。平成7年（1995年）、第8回市民に親しまれる道路愛称として、山王大通りの一部が「竿燈大通り」として命名され、昭和47年から竿燈のメイン会場になっている。



18 通町

江戸時代の町割を継承し、伝統建築と近代建築が融合した美しい商店街。まちづくり協定や地区計画により、その景観が保全されている。秋田藩初代藩主佐竹義宣公が外町のまちづくりとして手がけた地区といわれ、秋田の伝統的な家屋の特徴をとどめる商店が点在している。



22 八橋旧国道の通り

切妻屋根の町屋が残り、旧羽州街道の面影が垣間見られる。八橋地区の旧羽州街道沿いは、茶店が立ち並び、芝居興行が行われるなど、城下の一大行楽地としてにぎわっていた。昭和初期の町家以外にも、倉庫、蔵も趣があり、通りの表情を豊かにしている。



26 北の丸から見える太平山

遮るものない視野に、太平山の裾野の広がりが見渡せる。秋田市千秋北の丸地区は、丘陵にある地理的特性により、太平山をはじめ東部地区が眺望できるポイントとなっている。



30 泉外旭川駅

奥羽本線秋田-土崎間の中間地点に位置する駅。令和3年（2021年）3月に開業。「泉外旭川」の名称は、泉地区と外旭川地区の境界付近に立地することに由来し、駅前広場は、住宅街との調和を意識したデザインとなっている。



32 旧金子家住宅

江戸時代後期の秋田の町家の建築様式を色濃く残した商家の建物で、秋田市の有形文化財に指定されている。主屋一棟と土蔵一棟で構成され、屋根の上には雨水を貯める防火用の樋が2個置かれるなど、昔ながらのたたずまいを今に伝えている。



【千秋公園（はす）】



15 竿燈大通り

メインストリートに大小の竿灯が勢ぞろいし、一斉に立ち上がるさまは壮観で夢幻的な光景である。



19 秋田聖教主教会

洋風宗教建築がランドマークとなり、住宅街に風情を与えている。聖堂は昭和5年（1930年）に建てられたもので、その時からほとんど改変されることなく、当時の姿をそのまま残している。鉄筋コンクリート造としては、秋田県内でも初期のものにあたり、貴重な近代建築のひとつ。



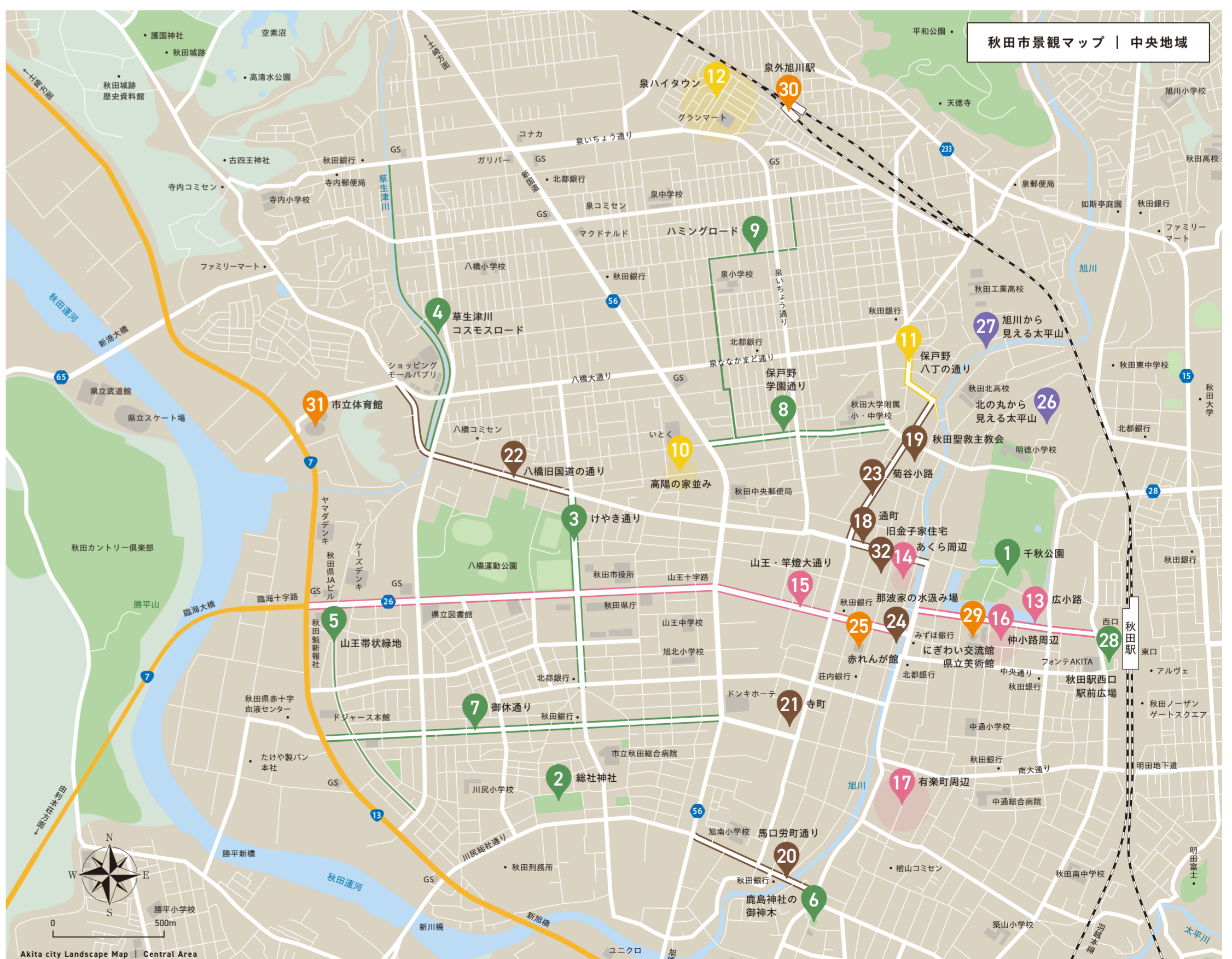
23 菊谷小路

歴史的な町割に加え、北側を望むと遠景に山並みが楽しめる。藩政期中通町の住人で酒造業を営んでいた豪商菊屋善右衛門に由来する小路名とされている。



27 旭川から見える太平山

蛇行する旭川の背後に太平山がそびえる眺望ポイント。



※この地図は、国土院発行の電子地形図を使用しています。



16 仲小路周辺

ショウウィンドウが並ぶお洒落な風景。にぎわい創出のため、年中通してさまざまなイベントが開催されている。



20 馬口労町通り

旧松倉家住宅をはじめとする明治時代の町屋が商店の間に残り、趣を醸し出している。馬口労町を象徴するのが、毎年8月12日に開かれる「華市」。お盆の飾り物や花、野菜などを買い求める人がつめかけ、昔のにぎわいを垣間見ることができ、夏の風物詩として今も賑々と受け継がれている。



24 那波家の水汲み場

旭川岸に残る水汲み場で、久保田城下の名残りが感じられる癒やしのスポット。明治期までは飲用ともなっていた清流が偲ばれる。川反の各町には、「カド」と称する共用の水汲み場があったが、現在残っているのはこの水汲み場だけである。



28 秋田駅西口駅前広場

秋田駅西口駅前広場は、芝生が広がり、誰もがくつろげる憩いの空間として、またイベントの開催などにより多くのにぎわいを創出する空間として活用されている。